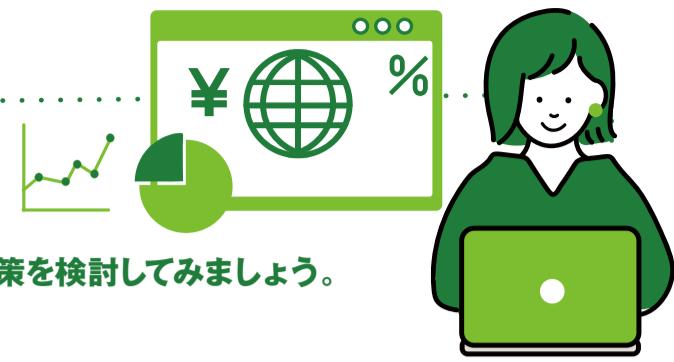


## エネルギー使用量の見える化②

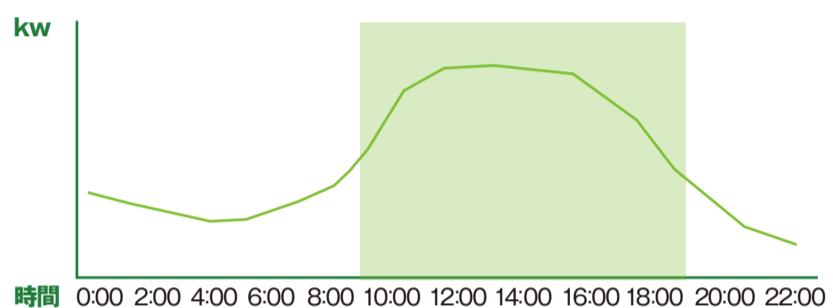
### エネルギー使用量の見える化

#### ✓ 見えたものを分析していますか?

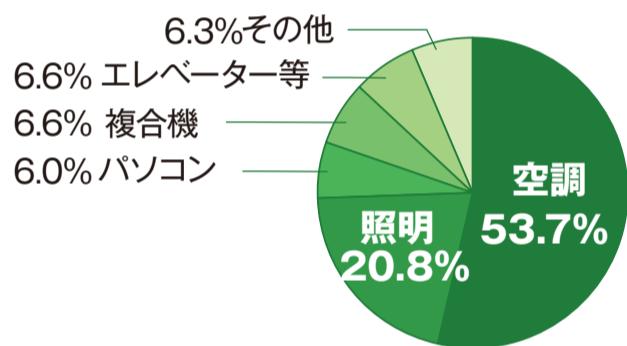
一番電力消費の多い設備、一番稼働時間が長い設備を把握し、ピークと照らし合わせて省エネ対策を検討してみましょう。



#### 【例:県内事業所(オフィスビル)の夏季の電力消費の特徴】



オフィスビルにおいては、9時～19時頃に高い電力消費が続く傾向があります。業種ごとに電力使用の特徴が異なります。



オフィスビルにおいては、消費電力のうち、空調が約54%、照明が約21%を占めます。これらを合わせると約75%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に有効です。

出典:資源エネルギー庁ウェブサイト

### エネルギー原単位



#### 原単位管理をしていますか?

原単位とは、エネルギー使用量と強い相関があり、例えば、製品の単位生産量や事務所の単位床面積に対するエネルギー使用量で生産効率や冷暖房効率を客観的に表す指標のことです。原単位管理を行うことで、エネルギー使用量の効率性が判断できます。

出典:SII ウェブサイト

#### エネルギー原単位

$$\text{エネルギー原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量(電力量:kWh、ガス量:m}^3\text{、原油換算:k}\ell\text{等)}}{\text{エネルギー使用量と密接な関係を持つ量}}$$

#### エネルギー使用量と密接な関係を持つ量

##### 事務所ビルの場合

- 延床面積
- 重量
- 面積×時間
- 営業時間
- 体積(空調をかけている時間)
- 人数

支店間比較、他社比較に有効

##### 工場の場合

- 重量
- 出荷額
- 生産量
- 個数
- 面積
- 体積

生産量の増減に関わらず、  
昨年比較が可能に

エネルギーの使い方を効率良く合理的に使用すると「エネルギー原単位」の値が低減されます。「分子を小さく」「分母を大きく」するように取り組みましょう。

管理の  
Point!

引用:経済産業省関東経済産業局ウェブサイト